

#### IV 選択的評価事項B 正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況

##### 1 選択的評価事項B「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」に係る目的

正規課程の学生以外の教育サービスに係る目的に関して本校の中期計画から関係するものを資料B-1-1に示す。

資料B-1-1

### 3 社会との連携，国際交流等に関する事項

中略

③小・中学校に対する理科教育支援の機会を増大するとともに，取組事例を総合データベースに蓄積・共有し活用する。

④地域社会との連携・協力，社会サービス等

- ・社会人が必要とする技術教育分野について調査し，社会人向け講座（遠隔授業を含む。）を開講する。
- ・地域の公的機関等の委員会・審議会等の委員として教員を積極的に参画させる。
- ・地域社会から要望されている教育活動に貢献する。
- ・地域のニーズを踏まえた教育・啓発活動を行う。

岐阜市科学館での教育委員会との主催事業（サイエンス・テクノロジー展）など地域と連携した教育活動を推進し，科学技術リテラシー教育の充実を図る。

- ・社会人向けリカレント教育体制の整備を図る。

平成21～25年度：リカレント教育体制として，人材育成事業（若手人材育成事業，学び直し事業等）の自立化及び体制を検討する。

- ・地域のニーズに応じた各種の公開講座を企画し開催する。公開講座開設数は年8講座以上開催する。
- ・毎年，以下の講座の開講・講師派遣依頼に積極的に応じる。

企業向け公開講座

中学生向けの「ものづくり教室」

中学校への出前講座

情報処理に関する講座

岐阜県等が開催する研修会

- ・平成21年度～25年度：社会人向け公開講座を実施する。

（出典 岐阜工業高等専門学校 第2期中期計画（平成21年度～平成25年度））

2 選択的評価事項B「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」の自己評価

(1) 観点ごとの分析

観点B-1-①： 高等専門学校の教育サービスの目的に照らして、公開講座等の正規課程の学生以外に対する教育サービスが計画的に実施されているか。

(観点に係る状況)

各学科で実施している公開講座の一覧を資料B-1-①-1に示す。

資料B-1-①-1

平成23年度岐阜高専公開講座開設一覧

番号	講座名	担当学科	期間	時間	受講対象	受講者数
1	中学生のためのロボット組立入門	電子制御工学科	7月25日(月)～26日(火)	10時00分～16時00分	中学生	27人
2	初めての七宝焼教室	技術室	7月26日(火)	13時00分～16時00分	社会人・中学生	21人
3	電気・電子工作入門～電気回路を自作してみよう～	電気情報工学科	7月29日(金)	10時00分～15時00分	中学生	6人
4	電子工作・プログラミング入門～机をたたくとパソコンから音が鳴る“Desk Drum”を作ろう～	電気情報工学科	7月29日(金)	13時00分～15時30分	中学生	6人
5	競技用ロボットの製作と「きのくに学生ロボットコンテスト2011予選会」	機械工学科	8月2日(火)	9時30分～15時30分	小学生・中学生	小 25人 中 25人
			8月20日(土)	小学生 10時00分～11時30分 中学生 13時30分～15時00分		
6	LEDを使ってミニイルミネーションを作ろう	技術室	8月3日(水)	13時00分～16時00分	中学生以上	7人
7	小型地雷探査ロボットの組み立てとミニ競技会	電子制御工学科	8月25日(木)～26日(金)	10時00分～16時00分	中学生	14人
8	すまいづくり入門：エコなすまい編	建築学科	8月1日(月)	10時00分～11時00分	中学生以上	メ 15人 サ 2人
9	すまいづくり入門：安心なすまい編	建築学科	8月1日(月)	11時00分～12時00分	中学生以上	メ 15人 サ 2人
10	すまいづくり入門：便利なすまい編	建築学科	8月1日(月)	13時00分～14時00分	中学生以上	メ 15人 サ 2人
11	すまいづくり入門：設計図を描いてみよう	建築学科	8月1日(月)	14時00分～16時00分	中学生以上	メ 15人 サ 2人
12	中学生のための環境都市工学入門 1 地震防災・耐震	環境都市工学科	10月22日(土)	10時30分～12時30分	中学生	4人
13	中学生のための環境都市工学入門 2 フリッジコンテスト	環境都市工学科	10月23日(日)	10時30分～12時30分	中学生	2人

※専業人員及び参加者数欄の「メ」は、メイン会場(本校)・「サ」は、サテライト会場(ネットワーク大学コンソーシアム岐阜)を示す。

(出典 岐阜高専ホームページ)

中学生に対する出前授業のテーマを教員から募集し、それを中学校側に提示している。テーマ数は全学科で63テーマである。そして、中学校からの要請により出前授業を行っている。出前授業一覧を資料B-1-①-2に示す。

資料B-1-①-2

平成23年度出前授業一覧（抜粋）

番号	テーマ名	担当(所属)	中学校の教科目との対応		簡単な内容紹介
			科目名	学習指導要領から選んだキーワード	
L-1	数の英語	清水 晃 教授 (人文)	外国語	単語	数に関する英語表現をクイズ形式で楽しく紹介します。
L-2	映画で学ぶ英語	亀山太一 教授 (人文)	外国語	文法	アニメ映画などで使われている易しい英語を楽しく学びます。
L-3	外国語学習の喜び	高原清志 教授 (人文)	外国語	文法	ドイツ語の基礎を学びます。
L-4	伝承の世界	宮口典之 教授 (人文)	国語	古典	『御伽草子』『浦島太郎』を読む
L-5	古典入門	中島泰貴 准教授 (人文)	国語	文法	五十音図・いろは歌などを素材に、仮名遣いについての解説と紹介
L-6	仮名表現史	中島泰貴 准教授 (人文)	国語	古典	ひらがなによる散文獲得の歴史
L-7	濃尾平野の戦国時代史	山本浩樹 教授 (人文)	社会	歴史	織田信長、豊臣秀吉、徳川家康らが木曾三川の流域ではげしく戦った戦国時代史をひもとき、濃尾平野の地域特性を考えます。
N-1	分数の理論	中島泉 准教授 (自然)	数学	数と式	142857 に関する不思議な計算の秘密と分数の理論を紹介します。
N-2	約数・倍数の理論	中島泉 准教授 (自然)	数学	数と式	111111 は7の倍数です。このような、約数・倍数の理論を紹介します。
N-3	式の展開の応用	中島泉 准教授 (自然)	数学	数と式	15×15, 25×25, 35×35, … の計算術とその秘密を解明します。
N-4	2次関数の応用	中島泉 准教授 (自然)	数学	関数	真上に投げ出されたボールはどこまで上がるか。この問題を、2次関数を利用して解きます。

(出典 学生課入試係資料)

正規課程の学生以外への教育サービスとして科目等履修生を受け入れることができるように規程を定めている。科目等履修生の規程を資料B-1-①-3に示す。

資料B-1-①-3

岐阜工業高等専門学校科目等履修生規程

制定 平成 5年3月17日  
最終改正 平成17年8月24日

(趣旨)

第1条 岐阜工業高等専門学校学則第50条の規定に基づき、科目等履修生に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。

(入学資格)

第2条 科目等履修生として入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 高等学校を卒業した者
- 二 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると校長が認めた者

(入学の時期)

第3条 科目等履修生の入学の時期は、学年又は学期の始めとする。

(入学志願の手続)

第4条 科目等履修生として入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類に検定料を添えて入学の14日前までに校長に願出しなければならない。

- 一 科目等履修生入学願書（別紙様式第1号）

二 履歴書  
 三 最終出身学校の卒業又は修了（いずれも見込みを含む。）証明書  
 四 現に職を有している者は、勤務先所属長の承諾書又は依頼書  
 （入学者の選考）  
 第5条 入学者の選考は、面接試験又はその他の方法により行う。  
 （入学の許可）  
 第6条 前条の選考に合格した者は、所定の期日までに入学料を納付し、所定の書類を提出しなければならない。  
 2 校長は、前項の手続きを完了した者に入学を許可する。  
 3 入学を許可された者は、所定の期日までに誓約書（別紙様式第2号）を提出しなければならない。  
 （指導教員）  
 第7条 校長は、科目等履修生に対し、履修に関する必要な指導助言を与えるため、指導教員を定める。  
 （履修期間）  
 第8条 科目等履修生の履修期間は、当該年度内とする。ただし、科目等履修生の願い出により、校長が必要と認めるときは、1年に限りその期間を延長することができる。  
 2 前項ただし書きによる履修期間の延長を希望する者は、履修期間延長願（別紙様式第3号）を校長に提出しなければならない。  
 （履修科目）  
 第9条 科目等履修生が履修できる科目は、校長が本校の教育研究上支障がないと認める科目とする。  
 2 科目等履修生が履修できる科目は、別に定める。  
 （授業料の納付）  
 第10条 科目等履修生の授業料は、所定の期日までに、履修する科目に係る金額を納付しなければならない。  
 2 授業料を納めない者は、除籍する。  
 （授業料、入学料及び検定料）  
 第11条 授業料、入学料及び検定料の額は、独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料その他の費用に関する規則（平成16年独立行政法人国立高等専門学校機構規則第35号）の定めるところによる。  
 2 既納の授業料、入学料及び検定料は、返還しない。  
 （職業の従事）  
 第12条 科目等履修生が職業に従事又は転職した場合は、その旨を校長に届け出なければならない。  
 （単位修得の認定）  
 第13条 科目等履修生が、履修した科目を修得した場合は、所定の単位を認定する。  
 2 校長は、単位を認定した者から願い出があったときは、その認定科目につき、単位修得証明書（別紙様式第4号）を交付する。  
 （退学）  
 第14条 科目等履修生が履修期間満了前に退学しようとするときは、指導教員の承諾を得て退学願を校長に提出し、その許可を受けなければならない。  
 2 校長は、この規程に違反した者、若しくは指導教員の指示に従わない者又は、疾病等やむを得ない事情により成業の見込みのない者に対して、退学を命ずることがある。  
 （他の規定等の準用）  
 第15条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、学則等学内諸規定を準用する。  
 （雑則）  
 第16条 この規程に定めるもののほか、科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。  
 （出典 岐阜工業高等専門学校規則集）

正規課程の学生以外への教育サービスとして研究生を受け入れている。研究生の規程を資料B-1-①-4に示す。

資料B-1-①-4

岐阜工業高等専門学校研究生規程

制定 昭和58年3月1日  
 最終改正 平成17年8月24日

（趣旨）  
 第1条 岐阜工業高等専門学校学則第48条の規定に基づき、研究生に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。  
 （入学資格）  
 第2条 研究生として入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。  
 一 高等専門学校を卒業した者

<p>二 高等専門学校を卒業した者と同等以上の研究能力及び学力があると校長が認めた者          (入学の時期)          第3条 研究生の入学は、学年又は学期の始めとする。          (志願手続)          第4条 研究生として入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類に検定料を添えて入学の14日前までに、校長に願い出なければならない。          一 研究生入学願書(別紙様式第1号)          二 履歴書          三 最終学校の卒業又は修了(いずれも見込みを含む。)証明書          四 現に職を有している者は、勤務先所属長の承諾書又は依頼書          (入学者の選考及び入学許可)          第5条 前条の入学志願者について面接試験その他により選考する。選考の結果合格した者は、所定の期日までに入学料を納付しなければならない。          2 校長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。          3 入学を許可された者は、所定の期日までに誓約書(別紙様式第2号)を提出しなければならない。          (指導教員)          第6条 校長は、研究生に対し、研究に関する指導助言を与えるため、指導教員を定める。          (研究期間)          第7条 研究生の研究期間は、当該年度内とする。ただし、研究生の願い出により、校長が必要と認めるときは、1年に限りその期間を延長することができる。          2 前項ただし書きによる研究期間の延長を希望する者は、研究期間延長願(別紙様式第3号)を校長に提出しなければならない。          (授業料の納付)          第8条 研究生の授業料は、前期及び後期の2期に区分し、前期にあつては4月、後期にあつては10月に納入するものとする。          2 授業料を納めない者は、除籍する。          (授業科目)          第9条 研究生は、指導教員の指導により、校長が必要と認めるときは、授業科目担当教員の承諾を得て、その授業に出席することができる。          (研究報告)          第10条 研究生は、その研究が終了したときは、研究報告書を指導教員を経て、校長に提出しなければならない。          2 研究成果等の証明は、本人の願い出により、教務会議の議を経て発行する。          (実験及び実習費)          第11条 研究に必要な実験及び実習等(消耗品)の費用は、研究生の負担とする。          第12条 授業料、入学料及び検定料の額は、独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料その他の費用に関する規則(平成16年独立行政法人国立高等専門学校機構規則第35号)の定めるところによる。          2 既納の授業料、入学料及び検定料は、返還しない。          (職業の従事)          第13条 研究生が職業に従事又は転職した場合は、その旨を校長に届け出なければならない。          (退学)          第14条 研究生は、研究期間満了前に退学しようとするときは、指導教員の承諾を得て退学願を校長に提出し、その許可を受けなければならない。          2 校長は、この規程に違反した者、若しくは指導教員の指示に従わない者又は疾病その他やむを得ない事情により、成業の見込みがない者に対しては、退学を命ずることがある。          (その他)          第15条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、学則等学内諸規定を準用する。          (出典 岐阜工業高等専門学校規則集)</p>
---

正規課程の学生以外への教育サービスとして聴講生を受け入れることができるように規程を定めている。聴講生の規定を資料B-1-①-5に示す。

<p>資料B-1-①-5          岐阜工業高等専門学校聴講生規程          制定 昭和58年3月1日          最終改正 平成17年8月24日          (趣旨)</p>
--

第1条 岐阜工業高等専門学校学則第49条の規定に基づき、聴講生に関し必要な事項は、この規程の定めるところによる。

(入学資格)

第2条 聴講生として入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 高等学校を卒業した者
- 二 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると校長が認めた者

(入学時期)

第3条 聴講生の入学は、学年又は学期の始めとする。

(入学の出願)

第4条 聴講生として入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類に検定料を添えて入学の

1 4日前までに、校長に願い出なければならない。

- 一 聴講生入学願書(別紙様式第1号)
- 二 履歴書
- 三 最終学校の卒業又は修了(いずれも見込みを含む。)証明書
- 四 現に職を有している者は、勤務先所属長の承諾書又は依頼書

2 聴講生が聴講できる科目は、実験実習以外の科目とする。

(入学者の選考及び入学許可)

第5条 前条の入学志願者について、面接試験その他により選考する。選考の結果合格した者は、所定の期日までに入学料を納付しなければならない。

2 入学を許可された者は、所定の期日までに誓約書(別紙様式第2号)を提出しなければならない。

(指導教員)

第6条 校長は、聴講生に対して聴講に関する指導助言を与えるため、指導教員を置くことができる。

(聴講期間)

第7条 聴講生の聴講期間は、当該年度内とする。ただし、聴講生の願い出により、校長が必要と認めるときは、1年に限りその期間を延長することができる。

2 前項ただし書きによる聴講期間の延長を希望する者は、聴講期間延長願(別紙様式第3号)を校長に提出しなければならない。

(授業料の納付)

第8条 聴講生の授業料は、所定の期日までに聴講する科目に係る全額を納付しなければならない。

2 授業料を納めない者は、除籍する。

(授業料、入学料及び検定料)

第9条 授業料、入学料及び検定料の額は、独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料その他の費用に関する規則(平成16年独立行政法人国立高等専門学校機構規則第35号)の定めるところによる。

2 既納の授業料、入学料及び検定料は、返還しない。

(履修証明書)

第10条 聴講生には、願い出により、聴講した科目の履修証明書を交付することができる。

(職業の従事)

第11条 聴講生が職業に従事又は転職した場合は、その旨を校長に届け出なければならない。

(退学)

第12条 聴講生が聴講期間満了前に退学しようとするときは、指導教員の承諾を得て退学届を校長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 校長は、この規程に違反した者、若しくは指導教員の指示に従わない者又は疾病その他やむを得ない事由により成業の見込みがない者に対して退学を命ずることがある。

(その他)

第13条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、学則等学内諸規定を準用する。

(出典 岐阜工業高等専門学校規則集)

企業における技術者および一般社会人を対象に組込み系デジタルシステム設計技術者養成プログラムの開設し、本校教員が講師を務めた。募集要項を資料B-1-①-6に示す。

## 資料B-1-①-6

## 組込み系デジタルシステム設計技術者養成プログラム募集要項

課程の名称	組込み系デジタルシステム設計技術者養成プログラム
目的	デジタルハードウェアシステム設計技術と、そのハードウェア上で動作するソフトウェア等からなるシステム制御技術を習得すること
学習内容	①ハードウェア記述言語によるデジタルハードウェア設計基礎 ②デジタルハードウェア設計応用(デジタルカメラを作ってみよう!) ③公開講座:スキルアップのためのデジタル応用機器設計
講習の方法	eラーニング(貸出演習ボードによる演習を含む) 90時間 サポート方法: Webでのサポート(掲示板、プロジェクトファイルの問題点解析等) 週1日のスクリーニング対応日における直接指導(希望者のみ)
公開講座	30時間(7.5時間×4日)
総時間数	120時間
期間	開講日 平成23年5月21日(土) 登校日 初日および最終日(9月中の土曜または2月中の土曜) 公開講座 夏期と冬期に実施(どちらかに参加)(詳細はWebページに記載)
履修資格	大学入学資格を持ち、デジタル回路とC言語等の基礎知識を持っている方で ①今後この分野での就職を目指す求職者の方および学生の方 ②キャリアアップを目指す企業のエンジニアの方
募集人数	最大受入可能数30名
受講料	岐阜高専地域協会会員企業社員(12,000円)非会員(18,000円)基礎+応用+講座
ボード貸出	無料 ※故意あるいは重大な過失により演習ボードを破損した場合には、修理等の費用をご負担いただく場合があります
修了要件	以下の方法で評価を行い、所定の成績以上で履修証明を行います ①Web上でのスキルチェック ②演習課題のレポート
申込	受付期間:平成23年3月21日~4月22日 方法:申込書をダウンロード頂き、EmaHかFAXもしくは郵送にて送付ください

(出典 岐阜高専ホームページ)

## (分析結果とその根拠理由)

本校の中期目標として社会との連携あるいは地域貢献としての生涯学習機関および小・中学校に対する理科教育支援を挙げている。公開講座は毎年、各学科や技術室から提案があり、総務・企画係がそのとりまとめを行っている。また、出前授業は教務会議を中心にして各科から講義内容を募り、一覧表を作成している。そして、公開講座、出前授業の開催案内は中学校訪問の際やホームページを通して行っている。科目等履修生、研究生及び聴講生の受入のための規程も整備し、受入体制を整えている。

なお、人材育成事業として企業の技術者を対象にした人材育成塾や技術者育成の講座や小中学生を対象にしたサイエンステクノロジー展などを開催している。

以上のように、正規課程の学生以外に対する教育サービスを計画的に実施している。

観点B-1-②： サービス享受者数やその満足度等から判断して、活動の成果が上がっているか。また、改善のためのシステムがあり、機能しているか。

(観点到に係る状況)

公開講座のアンケート結果を資料B-1-②-1に示す。

資料B-1-②-1							
平成23年度 公開講座アンケート結果							
講座の名称	総開設 時間数	受講対象者	受講定員	受講者数	有効回答者数 (A)	左のうち満足 回答者数 (B)	満足度率 (B/A)
中学生のためのロボット組 立て入門	10	中学生	30	27	27	26	96.3%
初めての七宝焼教室	3	社会人・ 中学生	15	21	21	21	100.0%
電気・電子工作入門 -電 気回路を自作してみよう-	4	中学生	10	6	6	6	100.0%
電子工作・プログラミング 入門 -机をたたくとパソ コンから音が鳴る “Desk Drum” を作ろう-	2.5	中学生	12	6	6	6	100.0%
すまいづくり入門：エコな すまい編	1	中学生以上	20	17	17	17	100.0%
すまいづくり入門：安心な すまい編	1	中学生以上	20	17	17	17	100.0%
すまいづくり入門：便利な すまい編	1	中学生以上	20	17	17	17	100.0%
すまいづくり入門：設計図 を描いてみよう	2	中学生以上	20	17	17	17	100.0%
競技用ロボットの製作と 「きのくに学生ロボットコ ンテスト2011 予選会」	6.5	小学生・ 中学生	40	50	47	41	87.2%
LEDを使ってミニイルミ ネーションを作ろう	3	中学生以上	12	7	7	6	85.7%
小型地雷探査ロボットの組 み立てとミニ競技会	10	中学生	15	14	14	14	100.0%
中学生のための環境都市工 学入門 1 地震防災・耐 震	2	中学生	20	4	4	4	100.0%
中学生のための環境都市工 学入門 2 ブリッジコン テスト	2	中学生	20	2	2	2	100.0%

(出典 総務課研究協力係資料)

出前授業の実施状況を資料B-1-②-2に示す。

資料B-1-②-2				
平成23年度出前授業実績一覧				
No.	日	時	学校	対象と希望テーマなど
1	6月30日 (木)	13:55~15:45	各務原市立桜丘中学校	M-4 (片峯先生)
2	6月30日 (木)	13:45~14:35	岐阜市立陽南中学校	M-8 (中谷淳先生)
3	6月30日 (木)	13:45~14:35	岐阜市立陽南中学校	C-2 (岩瀬先生)



4	6月30日	(木)	13:45~14:35	岐阜市立陽南中学校	A-5 (青木先生)
5	6月30日	(木)	14:50~15:40	岐阜市立陽南中学校	M-6 (山田実先生)
6	7月1日	(金)	13:45~14:35	岐阜市立陽南中学校	C-10 (廣瀬先生)
7	7月1日	(金)	13:45~14:35	岐阜市立陽南中学校	E-7 (富田睦先生)
8	7月1日	(金)	13:45~14:35	岐阜市立陽南中学校	A-7 (藤田大先生)
9	7月1日	(金)	14:50~15:40	岐阜市立陽南中学校	E-5 (安田先生)
10	8月3日	(水)	9:00~12:00	安八郡中学校理科部会 (登龍中学校他)	M-2 (小栗先生)
11	9月30日	(金)	13:25~14:15	関市立板取中学校	C-9 (廣瀬先生)
12	10月20日	(木)	14:10~16:00	各務原市立中央中学校	D-1 (藤田一先生)
13	10月31日	(月)	14:40~15:30	北方町立北方中学校	M-5(山田実先生), M-8(中谷淳先生)
14	1月27日	(金)	14:30~16:00	大垣市立西部中学校	E-8(羽瀨先生)

(出典 学生課入試係資料)

出前授業のアンケート項目を資料B-1-②-3に示す。

資料B-1-②-3

**アンケートのお願い**

国立岐阜工業高等専門学校

1. 授業題目名：「 \_\_\_\_\_ 」

2. 授業実施講師名： \_\_\_\_\_

3. 授業実施日時・場所： \_\_\_\_\_

本日は岐阜高専の出前授業にご参加いただきありがとうございました。  
 本日の授業について、皆さんの感想をお聞かせください。今後、このような授業を展開する上での参考とさせていただきます。活用したいと考えていますので、該当する記号を○で囲んでください。

**Q1：総合的に見てこの出前授業は、**  
 ア：十分満足した    イ：満足した    ウ：普通でした  
 エ：やや不満足でした    オ：極めて不満足でした

**Q2：この授業の内容のようなことに興味が持てましたか？**  
 ア：とても興味をもった    イ：興味をもった    ウ：普通  
 エ：あまり興味をもてなかった    オ：まったく興味をもてなかった

**Q3：この授業に参加して、進学先として岐阜高専に興味を持ちましたか？**  
 ア：とても興味をもった    イ：興味をもった    ウ：普通  
 エ：あまり興味をもてなかった    オ：まったく興味をもてなかった

**Q4：その他、感想などをご自由にお書きください。**

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

ご協力ありがとうございました。

(出典 学生課入試係資料)

出前授業の実施に関する改善案を資料B-1-②-4に示す。

資料B-1-②-4
広報総括
【出前授業から】
・今年度の出前授業は昨年並みであった。中学校訪問などでPRしたり，魅力的なテーマを提案したりするなど，さらに広める必要がある。
(出典 教務会議資料)

平成23年度の研究生を資料B-1-②-5に示す。

資料B-1-②-5
「平成23年度 研究生一覧」
不開示情報
(出典 教務会議資料)

研究生の報告書の一例を資料B-1-②-6に示す。

## 研究生の報告書の一例

## 1. はじめに

## 1. 1 研究の目的と背景

平成 21 年 7 月に起こった中国・九州北部豪雨<sup>1)</sup>では、福岡県福岡市博多で 1 時間に 116.0mm を観測するなど、局地的に 1 時間 100 mm を超える猛烈な雨が降った。この大雨により、広島県・山口県・福岡県・佐賀県・長崎県において死者・行方不明者が 30 名となり、このうち防府市で土石流や山崩れにより死者 14 名となった。近年、このような集中豪雨の被害がよく報告される。集中豪雨<sup>2)</sup>とは、積乱雲が同じ場所で次々と発生・発達を繰り返すことにより起こるため、狭い範囲に数時間にわたり強く降り、100mm から数百 mm の雨量をもたらす極めて危険な雨である。このような重大な被害を引き起こす雨の水害対策を計画していくことは非常に重要な課題である。そのためは、どのような地域にどのような降り方をしているのか、また現在までにどのような変化があったのかを統計的に検証していく必要がある。本研究では ID 解析を用いて検証していく。

既往の研究として、赤地<sup>3)</sup>は 1979 年~2007 年までの東京地域、岐阜地域、愛知地域、秋田地域、広島地域、宮崎地域の 6 地域 ID 解析を行った。その結果、東京地域の 8 月の雨は時間的に集中した雨が降ることが実証された。また、時間的に集中した雨と気温との関係を検証したところ、相関性のある地域があり、気温が高くなると時間的に集中した雨が降ることが示唆された。しかし全地域ではないので他のものが与えた影響の可能性もあるという結果だった。

## 1. 2 研究の概要

本研究では、ID 解析を行い梅雨の時期で降水が多いとされる 6 月と集中豪雨が多く起こるとされている 8 月の雨で観測地点ごとにどのような違いがあるのかを検証していく。また地域ごとに月ごとの ID 曲線の傾きではどのような違いがあるのかを検証していく。

(出典 教務会議資料)

(分析結果とその根拠理由)

アンケート結果は教務会議や学科会議等で検討し、改善するシステムがある。改善提案が提示されており、システムは機能している。

## (2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

公開講座や出前授業に関して多くの実績があり、受講者の満足度が向上するなどの成果を上げている。

(改善を要する点)

特になし。

## (3) 選択的評価事項Bの自己評価の概要

本校の中期目標として、社会との連携あるいは地域貢献としての生涯学習機関および小・中学校に対する理科教育支援を挙げている。公開講座は中学生を主な対象者とし、小学生や一般向けの講座も

含めて夏休みに実施している。出前授業は中学校と日程や内容を打ち合わせ、計画的に実施している。また、企業の技術者を対象にした人材育成事業として、ものづくり人材育成塾や中核人材育成塾も開催している。

以上のように、正規課程の学生以外に対する教育サービスの目的に照らして、公開講座等の教育サービスを計画的に実施している。また、各種アンケートに見るようにその成果が上がっている。

#### **(4) 目的の達成状況の判断**

目的の達成状況が良好である。